



平成27年度 学校経営評価結果

- 1 数値 学校評価「質問項目に対する肯定的回答（「そう思う」「ややそう思う」）の割合
- 評価について 2 評定 A：十分達成（90%以上） B：おおむね達成（75～89%）
C：達成したがさらに努力が必要（61～74%） D：未達成・要改善（60%以下）
※ 評定は、「生徒」「保護者」「教師」の回答した数値のうち、低い数値の評定とした。

No.	生徒質問項目	回答	保護者質問項目	回答	教師質問項目	回答	評定
1	学校の教育活動は、生徒をより良く育てるために行われている。	91%	学校は、教育活動（意義、こどもに育みたいこと）をわかりやすく伝えている。	91%	こどもや保護者に自校の教育活動をわかりやすく伝えている。	100%	A
2	学校は、きれいで、気持ちのよい環境である。	64%	学校は、校舎内外をきれいに清掃し、気持ちのよい環境を整えている。	88%	環境整備を積極的に行い、学習環境を整えている。	77%	C
3	先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれる。	89%	学校は、授業づくりを工夫して、こどもの学力を高める取り組みをしている。	84%	わかる授業の構築を工夫し、こどもの学力を高める授業実践を行っている。	92%	B
4	先生は、勉強、スポーツ、その他の活動でがんばったときほめてくれる。	84%	学校は、体験活動、学校行事を工夫しながら、よりよい育成に努めている。	89%	道徳の授業、体験活動、学校行事を通して、こどもをほめる機会に努めている。	100%	B
5	先生は、やってよいことと悪いことをきちんと指導してくれる。	93%	学校の生徒指導の方針に納得している。	86%	生徒指導共通実践事項を理解し、確実に取り組んでいる。	85%	B
6	先生は、安全や健康に充分気をつけてくれる。	88%	学校は、こどもの安全や健康に充分配慮した教育をおこなっている。	91%	こどもの安全や健康に十分配慮した教育を行っている。	100%	B
7	わたしは、学校の授業がよくわかる。	77%	こどもは、学校の授業がよくわかると思っている。	71%	毎時の授業で、目標提示、まとめやふりかえりを行っている。	100%	C
8	学習規律（チャイム・時間を守る。忘れ物がない）をしっかり守っている。	88%	こどもは学習規律（チャイム・時間を守る。忘れ物がない）が確立していると思う。	78%	学習規律（チャイム・時間を守る。忘れ物がない）の確立の手だてを講じている。	85%	B
9	「今の教科学習がこれからの生活に役立つ」と考えている。	83%	こどもは、「今の教科学習が将来の進路や生活に役立つ」と考えていると思う。	81%	わかる授業づくり「真和志共通実践」にもとづいて授業実践をしている。	92%	B
10	家庭学習ノートを活用するなどして、家庭学習を、きちんとしている。	68%	こどもは、家庭学習ノートを活用するなどして、家庭学習を、きちんとしている。	68%	家庭学習ノートを活用するなどして、家庭学習の定着に努めている。	88%	C
11	学校生活のきまりを守って生活している。	92%	こどもは、学校生活のきまりを守って学校生活をすごしていると思う。	90%	こどもに対し、学校生活のきまりを守ることの意義を説明し、指導している。	92%	A
12	元気な声で心からあいさつをしている。	75%	こどもは、あいさつができていると思う。	84%	本校の課題「あいさつが弱い」に対応し、あいさつの指導を行っている。	92%	B
13	真和志中は、いじめのない学校である。	81%	こどもは、いじめをうけてない、またはいじめをおこなっていないと思う。	94%	人権の日、いじめアンケートを実施し、人権意識の高揚に努めている。	92%	B
14	かぜ、熱中症等の病気にかからぬよう体調管理をこころがけている。	79%	こどもの体調管理（特に疾病予防）を日頃から心がけている。	97%	健康・安全の推進について、こどもの「自己管理能力」を高める指導を行っている。	92%	B
15	体力テストの結果から、今後自分が何を鍛えればよいかわかる。	90%	こどもは自身の運動能力ついて、自分が何を鍛えればよいかわかると思う。	83%	体力や運動能力の保持・増進させるための指導に努めている。	92%	B
16	基本的な生活習慣（ことばづかい、マナー、学習時間等）が身についている。	74%	こどもに基本的な生活習慣（早寝早起き等）が身につくよう指導している。	84%	基本的な生活習慣（あいさつ、ことばづかい等）が身につくよう指導している。	85%	B
17	わたしは、自分の住んでいる地域が好きである。	85%	こどもに、地域行事等積極的に参加を促している。	66%	こどもに、地域行事等積極的に参加を促している。	54%	D
18	わたしには、悩みの相談のってくれる大人（保護者、教師、その他）がいる。	79%	こどもの、悩み・相談にきちんと対応している。	87%	教育相談を計画的に実施し、悩み・相談にきちんと対応している。	92%	B
19	わたしは、保護者と学校生活のことをよく話す。	78%	こどもは、学校のことをよく話す。	81%	各種たよりを通して、家庭や地域に学校情報を提供している。	92%	B
20	わたしは、保護者と自分の将来の夢や希望について話合っている。	76%	こどもと将来の夢や希望について一緒に話合っている。	76%	こどもの将来の夢や希望の実現にむけ、教育活動を通して、支援している。	92%	B
21	わたしは、学校へ行くのが楽しい。	76%	こどもは、学校が楽しいと思っている。（充実した学校生活をおくっている）	88%	こどもは、学校が楽しいと感じていると思う。	92%	B
		22	PTA活動や地域活動に関心がありできるだけ参加している。	44%	PTA活動や地域活動に参加している。	46%	D
		23	こどもの様子に変化があれば、すぐに関係教職員に連絡するなどしている。	67%	こどもの様子に変化があれば、すぐに保護者に連絡するなどしている。	92%	C
		24	授業参観や保護者会には可能な限り参加している。	71%	PTA行事、授業参観及び保護者会に、多くの参加を促す手立てを行った。	85%	C
		25	学校から出る文書や連絡事項は、時期が適切でわかりやすい。	85%	保護者や地域あての作成、配布文書はやや適宜が適切でわかりやすい内容である。	69%	C
		26	学校は、こどもの様子について良く伝えるなど、相談しやすい雰囲気である。	84%	保護者に対して、こどもの様子について相談しやすい雰囲気をつくっている。	92%	B

評価総括結果
「私は学校へ行くのが楽しい」の生徒回答 76%（目標 90%以上）
「子どもは学校へ行くのが楽しいと言っている・感じている」保護者回答 88% 教師回答 92%（目標 90%以上）

学校経営の全体構想

校訓：自主・明朗（1958年（昭和33年）制定）

学校教育目標 自ら学び、心豊かで、たくましく生きる生徒の育成

めざす学校像

- （生徒）学校生活が楽しく、毎日行きたくなる学校
- （保護者・地域）安心・安全で開かれた通わせたい学校
- （教職員）組織力で課題解決に取り組む学校

めざす生徒像

- 目標をもって自ら学び、確かな学力を身につけた生徒
- 自他を大切に、思いやりの心を持つ生徒
- 体力向上に努め、健康で安全な生活ができる生徒

めざす教職員像

- 心身ともに健全で、確かな指導力を持った教職員
- 保護者や地域の願いを受け止め、共に歩む教職員
- 人間性豊かで、信頼される教職員

平成28年度重点目標

学力向上：県到達度調査各教科平均正答率が県平均を上回る

生徒指導：生徒指導・教育相談の充実を図る

重点実践事項

1 知：自ら学び確かな学力が身についた生徒を育てる

- ◇各教科等の指導方法の工夫・改善 1 各教科共通の授業実践を実施する 2 書く活動や話し合い活動の充実を図る
- ◇学習を支える力の育成 1 学習規律の確立を図る（授業ルール5か条） 2 家庭学習の充実を図る

⇒結果：平成29年2月実施 県到達度調査の各教科平均正答率が市平均正答率に並び

2 徳：心豊かな生徒を育てる

- ◇生徒理解・生徒支援の充実 1 いじめ、不登校のない学校をめざし、支援・指導の充実を図る
- 2 教育相談の充実にも努め、関係機関との連携強化を図る

⇒結果：自己肯定感と人権意識が高まる

3 体：たくましく生きる生徒を育てる

- ◇健康教育・保健管理の充実 1 健康（安全）増進に関する自己管理能力を高める指導を推進する 2 学校保健委員会の充実を図る
- ◇体力づくりの充実 1 体力（特に持久力）に向上に取り組む 2 部活動の活性化と適正化を図る

⇒結果：体力が向上して心身の健康の保持及び増進ができる

自尊感情の高まり⇒自分を誇り、学校を誇りに思う心が育つ

重点実践の取組概要

1 知：自ら学び確かな学力が身についた生徒を育てる

- (1) 各教科において、教科ガイダンスの実施、授業におけるねらいの提示とまとめの時間の実施を共通実践します。
- (2) 教育活動全体を通して、書く活動の充実と話し合い活動の実践に取り組みます。
- (3) 各種調査（県到達度調査、全国学力調査）の結果分析と、「朝ドリル」や「基礎力テスト」の実施により基礎・基本の定着を図ります。
- (4) 学習規律の確立を図ります。（授業ルール5か条の教室掲示）
- (5) 各教科における宿題の与え方を工夫して、家庭学習の充実を図ります。
- (6) 各教師一人1回の公開授業と年3回の授業研究会（小中合同を含む）を実施します。

2 徳：心豊かな生徒を育てる

- (1) 道徳の時間や教育活動全体を通じた道徳教育を充実させ、生徒の規範意識を育みます。
- (2) 毎月の始めの日を「人権の日」と位置づけ、生徒・教師の人権意識の高揚を図ります。
- (3) 毎月、定期アンケートを実施して「いじめ」の未然防止と早期解決を図ります。
- (4) 年2回（6月・11月）の教育相談を全生徒対象に行うとともに、教育相談支援員やS.O.と連携した相談活動の充実を図ります。
- (5) 年2回のQ-Uテスト（楽しい学校生活を送るためのアンケート）を実施して、支持的風土のある学級づくりに取り組みます。
- (6) 関係機関とのネットワーク構築に努め、連携強化を図って指導・支援に努めます。

3 体：たくましく生きる生徒を育てる

- (1) 学校保健委員会を年3回（7月・1月・2月）に実施して、健康の保持増進に係る自己管理能力を高める指導を推進します。
- (2) 体力テスト（4月）の結果分析から、生徒個人の課題や学校全体の課題（昨年は持久力に課題）を捉え、その改善に取り組みます。
- (3) 食に関する指導を通して、自分の健康を考えた望ましい食習慣の育成に取り組みます。
- (4) 外部講師による講話を計画・実施して、心の健康について考え実践する態度の育成を図ります。
- (5) 部活動の活性化や地区陸上・地区駅伝に向けた取り組みを全教師で支援します。
- (6) 校内体力向上推進委員会を設置して、学校三師（学校医・学校歯科医・学校薬剤師）や関係者の意見を参考にした体力向上を推進します。